

## 目 次

実験のための基本的注意	1
<b>1 章 危険な物質と有害な物質</b>	<b>3</b>
1. はじめに	3
2. 危険物	6
2.1 酸化性固体(消防法第1類)	7
2.2 可燃性固体(消防法第2類)	9
2.3 自然発火性物質および禁水性物質(消防法第3類)	10
2.4 引火性液体(消防法第4類)	11
2.5 自己反応性物質(消防法第5類)(火薬類取締法)	13
2.6 酸化性液体(消防法第6類)	15
3. 高圧ガス	16
4. 有毒物質	22
5. 環境汚染物質	35
5.1 水質の環境汚染物質	36
5.2 大気環境汚染物質	39
5.3 ダイオキシソ類(ダイオキシソ類対策特別措置法)	41
<b>2 章 実験室廃棄物の処理</b>	<b>43</b>
1. はじめに	43
2. 集約処理のための収集貯留	45
2.1 収集貯留区分	45
2.2 収集貯留上の一般的注意	45
3. 集約処理システムの概要	49
4. 有害物質の処理法	49
4.1 処理における一般的注意	50
4.2 無機系実験廃液の処理法	51
4.3 有機系実験廃液の処理法	56
5. 一般廃棄物の処理法	59
付表 2.1 有害重金属塩類の溶解性	60

<b>3章 危険な装置の取扱い</b> .....	61
1. はじめに.....	61
2. 電気装置.....	62
2.1 感電.....	62
2.2 電気災害.....	65
3. 高エネルギー装置.....	67
3.1 レーザー.....	68
3.2 放射性物質と放射線発生装置.....	69
4. 機械装置.....	74
5. 高圧装置.....	76
5.1 オートクレーブ.....	77
5.2 高圧容器.....	78
6. 高温・低温装置.....	87
6.1 高温装置.....	87
6.2 低温装置.....	89
7. ガラス器具.....	94
8. 静電気対策.....	95
<b>4章 応急処置法</b> .....	101
1. 薬品による障害.....	101
1.1 一般的応急処置法.....	101
1.2 応急処置法の具体例.....	103
2. 外傷.....	113
2.1 手当のしかた.....	113
2.2 止血法.....	113
2.3 切断された四肢と指の措置.....	113
2.4 措置者への注意.....	113
3. やけど.....	114
3.1 重症度の判定.....	114
3.2 応急処置法.....	115
4. 凍傷.....	116
5. 電撃傷.....	116
6. 放射線被曝.....	117
6.1 X線などによる外部被曝.....	117
6.2 放射性物質の付着.....	117

7. CPR.....	118
7.1 人工呼吸法(マウス・トゥ・マウス法).....	118
7.2 心臓マッサージ.....	119
7.3 自動体外式除細動器(AED).....	119
<b>5章 災害対策</b> .....	121
1. 火災.....	121
1.1 防火対策.....	121
1.2 消火器と防護用具.....	123
2. 地震.....	126
<b>索引</b> .....	131